

第4回 仙北市議会9月定例会

平成24年9月4日
最終日：9月28日

平成24年度一般会計 6億7295万7000円の補正予算を可決



一般会計補正予算6億7295万7千円

この補正によって本市の一般会計の総額が190億9299万7千円になる。

9月定例会の会期は9月4日から28日までの25日間だった。その内訳は本会議5日、委員会4日、休会16日の日程になった。

特例公債法案（赤字国債発行人法案）が野党の反対によって廃案となり、これまで4、6、9、11月と年4回地方自治体に交付されていた交付金の9月4日の予定分4、1兆円が予定通り交付出来ないのではと心配された。状況だけでは各自自治体が自分で当面の資金を調達せざるを得なくなり、場合によっては事業の延期や停止等も余儀なくされる。本市も少なからぬ混乱が予測されたが、さすが政府も手持ち資金をかき集め市町村交付分を優先させ、県交付分を先送りするなどして当面を繕った。しかし10月に入っても全く法案成立の見通しが立たず、更に長期化するとの国の財源が枯渇し、地方にも深刻な影響が出ると心配されている。

そうした中で補正額が6億7千万円強と本市の予算規模

からして比較的大きな補正となった。

提出議案は一般会計、特別会計含めて「条例制定」について7件、各会計補正予算6件、各会計歳入歳出決算認定について15件、市道の変更認定に

予算常任委員会

ついて1件の計29件になった。議論の内容は当然ながら補正予算案における事業内容や予算の妥当性が審議の中心になった。以下提案された一般会計補正予算の事項別主要経費について。

◎国際交流・国内交流推進費
386万4千円（一般財源）

高校生を交流の目的で台湾に連れてゆくもの、100名募集の予定、旅費は全額市が負担。

◎クニマス里帰りプロジェクト事業
214万円（一般財源）

クニマス資料館（仮称）将来およそ3億円の建設予定額のうち建屋1億5千万円分の基本設計費用。

◎生活路線代替バス運行費
1057万2千円（一般財源）

現在、市の補助で運行している乗り合いバスやデマンドタクシーを市民の要望に添って試験的に11月～12月30日まで土日祝祭日も運行するための補助金。

デマンド145万円、路線バス委託料90万円、他は乗車率向上による補填。

◎所得税等国庫返還金
180万1千円 その他

本来所得税を納付す金額から126万4千500円を不正に減額した分と、それに対する遅延損害金53万6387円の国からの返還請求に応じるもの。

◎人工透析通院費支給事業費
115万6千円（一般財源）

市立角館病院に通院する人工透析患者の通院交通費の一部を市が負担するもの。

◎小規模施設等緊急整備費
1億1600万円（国県支出金）

こまくさ苑田沢の郷で建設する29床のミニ特養、大曲仙北介護保険事務所の管轄事業であり市の負担はなし。

◎介護施設開設準備費
174万円 国県支出金
こまくさ苑田沢の郷で建設

するミニ特養の開設に伴う新たな職員の研修費や給与、備品の購入などに当てるもの。

◎少子化対策・子育て支援プロジェクトチーム活動事業費 30万5千円（一般財源）

チーム委員への報償費、及び需用費。

◎秋田県種苗交換会招致推進事業 613万円（一般財源）

来客駐車場予定地の旧秋木工場跡地を臨時駐車場として整地し砂利を敷くもの。

◎農業生産施設復旧支援事業補助金 488万7千円

（国県支出258万7千円 一般財源230万円）

4月3日夜から4日の朝にかけての農業施設暴風被害に対する、国県による補助補填分。

◎木質バイオマス施設管理運営費 372万3千円（その他7千円 一般財源371万6千円）

木質バイオマス施設の臨時雇用者を1名増やす人件費とバグフィルターの購入費。

◎道路維持補修費

1586万1千円（その他261万円 一般財源1325万1千円）

ぶな森トンネル非常警報装置の修繕他7件の工事と市内

全域の舗装の修繕道路維持に係る砕石、アスファルト合材原材料費86万1千円を加えたもの。

◎冬季交通対策費 1億8591万7千円

（その他3万1千円 一般財源1億8588万6千円）

冬季除雪費用。

◎橋梁維持補修費

520万円（一般財源）

田沢橋（生保内中央陸橋）の橋桁不整合を解消するもの。

◎河川維持補修費

290万4千円（一般財源）

角館中学校の背後を流れる

鰻瀬川の河床整備に伴う重機借り上げ料70万4千円、角館

地区流雪溝の分水溝、落差溝など常習的な被害箇所改修工事費220万円。

◎排水対策事業費

700万円（一般財源）

西木町門屋漆原地内の常態化している内水被害を改善す

るため、400タイプの勾配可変側溝を敷設して下流への排水をスムーズにするもの。

◎育英奨学資金繰り出し金

1110万2千円（その他）

市奨学金制度への基金の積み増し。

◎繕工事費

1214万2千円（一般財源）

市道舗装の補修と側溝の一

部修理費

◎かくのだて幼稚園アスベスト除去対策事業費補助金 317万（一般財源）

かくのだて幼稚園の建設時に防露対策として天井鉄骨や

スラブ下部に吹き付けられた断熱材が石綿である事が判明したためこれを除去するもの。

◎かくのだて幼稚園耐震補強対策事業補助金 280万円

（一般財源）

耐震補強設計予定額3360万円のうち280万円を市で補助するもの。

◎玉川河川公園管理費

315万1千円（一般財源）



熱のこもった予算常任委員会

昨年完成したばかりの岩瀬橋上流部の玉川河川公園の芝生グラウンドが排水不良のため使用を禁止しているが、これを解消するための工事費。

◎現年補助災害復旧事業費 1億9319万7千円

（国県支出）

1億1987万7千円

市債 6730万円

一般財源 602万円

凍上災害（本年2月の厳寒で市道の一部が路床の凍結膨張によって被害を受けた）被害路線10箇所の復旧事業費。

内容の審議、特別会計については各常任委員会報告をご覧下さい。

（阿部則比古記）

決算常任委員会報告

一般会計決算は決算常任委員会において継続審査になっており、本定例会では審査されなかった。特別会計分は各常任委員会報告をご覧下さい。特筆すべきものとしては、市立田沢湖病院、市立角館病院の赤字決算があげられる。平成23年度決算で田沢湖病院は7557万7千円、角館病院は4059万6千円の赤字を計上した。特に田沢湖病院は22年度に8795万6千円の赤字を出しており、24年度も同様な赤字を計上するものと推察される。病院の経営規模からして異常な経営内容が常態化しているといわざるを得ない。角館病院の赤字分と医療局の経費を合算する

と1億4032万7千円にもなり、本市の予算規模からして今後大問題になると思われる。本年をピークとして、これから地方交付金が大きく削減され続けるものと推測され、今後の自主財源の減少と相まって数年以内に予算編成すら困難になる状況も予想される。毎年こうした赤字決算を議会がどこまで認定できるのか、決算の不認定どころか病院会計の予算認定すら困難になる日が近いのではないか。今後の市当局と医療関係者の血の滲むような努力と、思い切った英断以外に解決の方法は無いものと思われる。

（阿部則比古記）